

岐大通 2011



2011 J.League Division2 第2節 ジェフ千葉戦

8/13(土) 18:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

《小ネタ / FC東京戦》それは「都市伝説」ではなかった.....

噂では聞いていた。「ヤツらはすげえ」とも、「食う量がハンパない」とも。とあるスタジアムで試合開始前にビールが売り切れたという話を聞いたこともあるし、先日は国立競技場で「完全に食べ尽くした」というニュースを、一応は目にしていた。それでも、僕はそんなのはあくまで噂で、本当は大したことないんじゃないかなって心のどこかで思っていた。それに、今節は日曜ナイター。まさか、東京からそんなに多く来るとは思え...

...しかし、FC東京サポの「イナゴ伝説」は真実だった(大苦笑)。もの凄い人数のFC東京サポが、長蛇の行列を作ってメモリアルの屋台村を占拠し、スタジアムグルメを思う存分に満喫していた。他クラブのサポだと、ビジターゲートから入って、あまり屋台村に顔を出さないこともあるのだけど、FC東京サポは正面入場ゲート 屋台村へと向かうパターンが多かったようだし、試合開始ギリギリまで屋台村に残っていたサポも多かったようだ(苦笑)。売り切れた屋台も数多く出た...というか、飛騨牛串の「こもり」さんはハーフタイムにビールすらも完売していたのを、僕はこの目で見た(苦笑)。そして、試合に勝利すると凱歌をあげた後、もの凄い勢いでダンマク等を撤収し、スタジアムからすぐにいなくなった。本当にイナゴのようだった(笑)。もちろん、クラブによって応援スタイルや特徴の異なるサポーターがいるのだし、また、そういった他サポとも交流できるのも、「Jリーグの魅力のひとつだと思う。

ただ、これだけ多くの観客を迎えたので、メモリアルの運営面にも課題が出たという話も聞こえてきた。特に、帰りの臨時バスの本数や乗り場案内等に不満があるとか。スタッフは今回の反省を材料にして、よりよいスタジアムに改善して行ってほしい。

さて、今節の対戦相手もビッグクラブの千葉。昨年はメドウ開催でチケット枚数も少なく、泣く泣く来れなかった千葉サポも多かった(それでも多かった)ようだけれど、キャパ充分のメモリアル、しかも土曜日開催の今年は...?(ささたく)

『スターシップ・トゥルーパーズ』という映画の宣伝コピーを思い出す光景だった。

「ヤツらは、群れになってやってくる」。この日、用意した『岐大通』は50部。正直、我がFC岐阜の成績も厳しいし、これくらいがちょうどいいだろうという印刷班の判断は間違ってたと思う。しかし、まさかアウェーのFC東京サポがメイン側に大勢並んで、そのまま屋台村になだれ込むとは思ってもみなかったのだ。結局、『岐大通』は一般入場の列が入り終わる頃(試合開始2時間前)には配布終了に。

ぼくは配布を終えても30分くらいは入場しなかった。ゲートの外から見える屋台村近辺は「通過することも困難」な様相。「見る、東京サポがイナゴのようだ」って、またアニメの名台詞が(笑)。30分後ようやく入場したのは、イナゴの山が退いたからではなく、「こりゃあ当分退かない」と悟ったから。入場してメインに席を確保したら、アウェー側のFC東京サポはほとんどいなかった。彼らは、試合開始2時間前から20分前まで喰い続けていた(笑)。FC東京関係者が事前に『警告』していた「“倍”の食材を用意すること。『いつも』の倍ではない。『FC東京サポが来るからいつもよりかなり多めに用意しよう』の倍だ」という状況を理解した。忠告は聞くモノだ(笑)。FC東京サポの皆様、岐阜を堪能していただき、ありがとうございました。(吉田鑄造)

移籍情報とか

永芳卓磨選手の大分トリニータへの期限付き移籍が発表になりました。

永芳選手はプレスキックの精度が高く、なにより(残念なことですが)現時点ではFC岐阜の最新のゴールを決めた選手でして(苦笑)、サブ登録が多いとはいえほぼ毎試合出場していた選手が同じリーグのクラブに移籍放出というのはちょっと理解出来ない部分ではあるのですが、評価してくれた大分のためにも向こうでしっかり結果を出して自分自身もしっかり成長して来てほしいと思います。ところで、こういう移籍の場合には「当該クラブ同士の対戦では出場出来ない」という移籍契約にする例が少なくないと思うのですが、そこら辺は「抜かりない」.....ですよね?>フロントの皆さま(笑)。もう一人、移籍に関連して。九州リーグの「FC KAGOSHIMA」へ期限付き移籍された山内智裕選手ですが、FC KAGOSHIMAは予選を突破して本年10月に岐阜県で開催される『全国社会人サッカー選手権大会』に出場することとなりました。この大会には我らがFC岐阜セカンドも出場します。お時間がありましたら、観戦されてみてはいかがでしょうか。(吉田鑄造)

去る8月4日、元・日本代表で松本山雅FCに所属の松田直樹選手が逝去されました。松田選手は、東日本大震災の後に行われたFC岐阜と松本山雅との練習試合にも出場されていました。

8月7日のFC東京戦では、両チームの選手、関係者、観客・サポーターの方々から黙禱が捧げられました。

松田直樹選手のご冥福をお祈り申し上げます。

today's guest

ジェフ千葉

2010 J2第4位

J2通算対戦成績:1勝0分2敗

2011成績

第16節 11/06/12 千葉 3-1岐阜

2010成績

第08節 10/04/25 千葉 2-0岐阜

第2節 10/08/22 岐阜 1-0千葉

2011J2

順位表 第03節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視点): *は 試合少ない

1	FC東京	38p	+19	30	11	A	H
2	徳島	37p	+13	30	17	H	
3	栃木	37p	+13	27	14	H	
*4	千葉	35p	+12	30	18	A	
5	北九州	33p	0	19	19		
*6	札幌	28p	+2	16	14	H	A
7	鳥栖	27p	+8	22	14	A	
8	愛媛	27p	-3	24	27	A	
9	東京V	26p	+11	34	23	H	A
10	湘南	26p	-4	20	24	H	
11	熊本	26p	-6	15	21	A	
12	草津	26p	-7	24	31		
13	大分	25p	-2	22	24	H	
14	岡山	23p	-5	24	29		
15	水戸	22p	-4	20	25	H	
16	京都	20p	-3	21	24	H	
17	横浜FC	20p	-4	18	22	A	
18	鳥取	19p	-1	19	20	A	
19	富山	17p	-13	15	28	A	
20	岐阜	8p	-23	11	36	---	---

次回 HomeGame

第2節

ガイナレ鳥取戦

8/27(土) 18:00

@岐阜メモリアル

センター長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)

8/13号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当: ささたく & 吉田鑄造

編集子より

ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願ひ致します。

やるだけのことは、やった……かな。 岐阜 0-2FC東京【第0節】

FC岐阜は長良川でFC東京と対戦し、0対2で敗戦。なかなか勝てない悪循環、どう乗り越えるか。今こそサポーターが一丸となって戦う時。FC岐阜頑張れ！

(ハマッチ)

「今はコレがせいっぱい・・・」

5試合連続の完封負け。それでも、過去の4試合と比べて納得ができた内容だった。というより、過去の4試合には、ほとんど得るものがなかったワケで(苦笑)。

もちろん、満足はしていない。ただ、試合後にはごく自然に、かの名セリフが脳裏に浮かんだ。今できることはやりきった。シュートが枠に飛んだ。パー直撃も2本あった。相手のGKに汗をかかせた(冷や汗かどうかは、聞いてみないとわからないが)。やはり、得点チャンス。決定機があると気分が違う。納得という基準の設定が、かなり低いとは思いますが……。

ただ、その決定機やパー直撃のシュートは後半。2点差をつけた東京が、気候も考慮して少し流した、その間隙を縫っての攻勢という見方もなくはない。それならそれでかまわない。その余裕を衝いてゴールを決めてしまえばいいだけのこと。だからこそ、あのヘッドは決めてほしかったなあ。ソメのクロスは完璧。三ツ沢での洗一へのアシストと双壁の出来だった。そして、そこに対応した優大の助走をつけたジャンプも頭を振るタイミングもバッチリ！……に見えたんだけど？あの流れだと、普通ならピッチに叩きつけるような勢いのある弾道になるはずだよ？アレを吹かす方が至難だと思うのは、いささか厳しい見方かな？でも、たぶん当の本人が一番ぶがいなさを感じているはず。次は必ず決めてください！優大。

攻撃ではソメも正吾も、交代出場の洗一もイイところを見せてくれたし、橋本も戻ってきてくれた。あとはハンジェが、早くベスト・パフォーマンスを取り戻してくれるとイイんだけどね。ただ、守備陣は秀人が警告累積により次節の千葉戦出場停止。これが痛い。2m超の巨神兵・オーロイが負傷欠場っぽいのは朗報か？一概にそうとは言えない気もするが、そこは出場するDFの奮闘に期待するしかない。

最後に、東京戦のMVP(負け試合で、こういう評価が妥当かどうかはわからないが)は恭平。やはり、あのPK阻止がビッグ・セーブ！あそこで決められてたら、東京の攻勢のまま味スタ並みの大量失点となった可能性が高かったような気がする。あのプレーがあったからこそ、前半終了間際に2失点目を喫しても「まだまだ！後半ガンバロウ!!」という根性が出て、前述の攻撃ができたんだと思う。「やはり、得点チャンス」とか「決定機」とか書いたけど、守備でも周りを、選手だけでなく観客をも鼓舞できるんだなあ、改めて思った次第。

これからも厳しい状況は続くけれども、この一週間で調整して、千葉にフクアリでの借りを返してやろうぜ！

(ぐん、)

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チチミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休：日曜日(今日は営業しています)



認めたくはないが、これが「決定力の差」というヤツなのか...と思われた試合内容だった。バイタルエリアでマークが外れた瞬間を見逃さずに東京DF徳永にミドルシュートを撃たれ、前半17分に失点。よく「あの場所からのミドルは、J2レベル(の選手)なら入らないよねー」って言うけど、そういう意味では、FC東京の選手は「J1レベル」だったって事なのだろうか。また、岐阜の選手たちは、自分たちが撃たない(撃てない?)からって、相手も撃たないと思込んでなかったらどうか。

それまでの守備については、ラインも高くコンパクトだったし、ボールを奪う形はよかったと思う。けれど、せっかくボールを奪って良い形で攻め込んでも、自分たちのミスで流れを失うのは相変わらず。パスの出し手と受け手の意志が合わずに「え？俺にボール来たの？」みたいなプレーや、ボールが来てから考えて動いているようなプレーが目につく。その割には、パスが繋がらなかった後に、選手間で声を掛け合って修正してる場面がほとんど見えないような...

前半42分の2失点目は、(非常に残念ながら)いつもの失点パターン(のひとつ)。ドリブルでぶち抜かれてシュートを撃たれ、GK恭平が弾くが、敵MF谷澤をゴール前でフリーにしていたため、転がったボールを押し込まれて失点。集中が切れていたのか、またもDF陣がボールウォッチャーになってしまっていた。

これでは後半も厳しいかな...と思ったのだけれど、良い意味で予想を裏切られ、後半開始早々、立て続けに決定機を迎えるFC岐阜。しかし...染矢のシュートはパーを叩き、ゴール前でフリーだった西川のヘッドは上に外れ、正吾のシュートは力が足りなかった。「たれば」は禁物だけど、あの後半開始10分の時間帯で得点できていたら...と思うと、「決定力の差」を痛感してしまう。選手たちには、もっともっと真剣にシュート練習をしてほしいと思う。

その後は、FC東京側が2点差で軽めに流したのか岐阜の暑さで足が止まったのか、割と互角な試合展開だったと思う。決定機もつくれたし、被決定機も迎えた。だけど、相手ゴールをこじ開けることは出来ず、敗戦となってしまった。

もちろん5連敗は厳しい状況なのだけれど、それ以上に、5試合連続で無得点なのが大問題だ。今節も、だいぶ改善されているとは感じるが、まだまだ「自信がない」というか「他人任せ」にしているようなプレーが選手たちに見受けられる。どんな試合でも、「勝つこと」を目標にしているはずなのだし、そのためには「得点する」しかないはずなのだから、もっと、全選手がゴールを奪うまでの意識を持ってプレーしないと、この状況は変わらないんじゃないだろうか。

それと、レギュラー陣があまり代わり映えがしない(苦笑)のも、そろそろ何とかして欲しいところ。積極的なプレーでのミスはまだ我慢できるが、消極的なあるいは致命的なミスをした場合は、やはりスタメンを変えるべき...って考える僕は、厳しい考えなんだろうか？でも、それが無いと「選手間の競争」って激しくならないんじゃないのかな？少しぐらい調子が悪くたって、実戦で起用されないとなれば、調子が上がらない選手もいるんじゃないのかな...と思ったりもする。連敗しているのに、メンバーを変えずにまた敗戦...ってのには、どうもストレスが溜まってしまう。それならば、選手を入れ替えて負ける方がまだマシだ...と思うのは、僕だけなんだろうか。

最後に、(負けてしまったが)僕は岐阜側のMVPがあるとしたら、GK恭平に捧げたい。ボールをスリップしてCKにしてしまった時にはどーなることかと一瞬不安になったけど、その後はPKを止めてみせるなど、何度も決定機を防いで見せてくれた。多謝。(ささたく)

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>